第254回鳳雛講座　令和7年5月7日(水)

５月７日（水）に今年度１回目の鳳雛講座を行いました。講師は、北秋容器株式会社にお勤めの後藤鮮延さんが務めてくださいました。地域で発生したゴミは地域内で処理する「地域融合型リサイクルシステム」の循環型社会の構築を目指しているという会社の理念の下、リサイクル事業に力を入れている様々な方法や製品の説明を聞き、仕事内容はもちろんのこと、そのような会社が地元大館にあることに驚いていた生徒が多くいました。

これを皮切りに、今年度も鳳雛講座を複数回実施する予定です。将来就く職業の選択肢を広げるために、より多くの生徒に参加してほしいと思います。次回は７月２日（水）を予定しています。

循環型社会の資源リサイクル

後藤　鮮延さん

【北秋容器株式会社】

○講話の内容

・北秋容器株式会社とは

昭和 38 年に空きビン回収販売業として創業。主に一升瓶などの空になったビンを洗ビン機で洗浄し、その後検ビンに合格したビンを酒蔵に販売している。更に、平成 18 年にはガラスリサイクル事業を始めた。ガラスリサイクル事業では、通常再生が難しいと言われている廃ガラスをリサイクルし、「スーパーソル」の製造を行っている。

・スーパーソルとは

水に浮くほど軽量で、透水性があり、不燃で腐食しないという特徴がある多孔質軽量資材である。その特質を生かして、土木の軽量盛土材や、水はけの悪い土壌の暗渠排水資材として活用されている。

・他の事業として

北秋容器株式会社が手掛ける事業には他に、木質ペレット製造事業や、木質チップ製造事業がある。

事業で製造されるペレットは、県北管内の製材所から発生するおが粉を原料として作られ、伐採をしたら植林するという循環さえ保っていれば再生可能なエネルギーと言える。そのため、県の認定リサイクル製品にもなっている。また、材料となる木は成長する過程で大気中の二酸化炭素を吸収するため、環境に優しいエネルギーとも言える。ペレットは、ペレットストーブ、ペレットボイラーなどの燃料として活用される。

また再生可能エネルギーによって発電された電気を、国が定めた単価・期間で小売電気業者が買い取りをする制度、FIT 制度の開始を機に、伐採した丸太などの原木をチッパーで粉砕し、切削した木質チップの製造も事業として取り扱っている。木質チップは木質チップボイラーや発電事業者に燃料として利用・販売されている。

○生徒の感想から

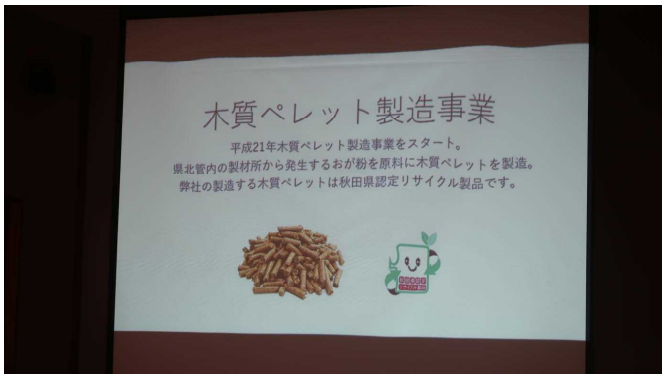
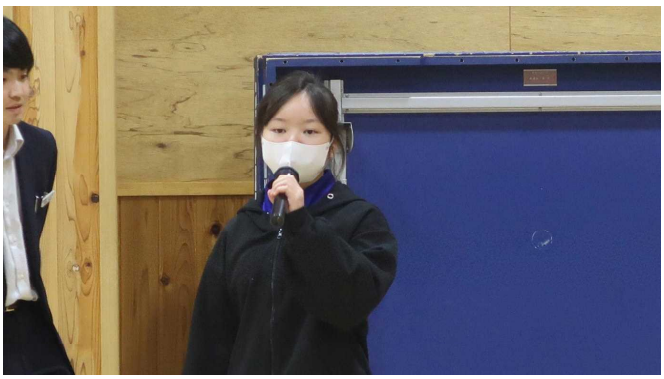
・環境によい製品を作ることでよりよい未来に繋がっていくのではないか。このような事業が増えると安全に暮らせるのではないかと考えた。

・どんな職業なのか、事業の内容が分かっていなかったが、環境に良い事業がたくさんあることが分かった。他の鳳雛講座にも積極的に参加していきたい。

・リサイクルやビンの洗浄以外にも色々な仕事があることを知ることができて、とてもためになった。また、自分の職業の選択肢も広がったと思う。

鳳雛講座
第254回
後藤鮮延さん

鳳雛講座


木質ペレット製造事業
平成21年木質ペレット製造事業をスタート。
県北管内の製材所から発生するおが粉を原料に木質ペレットを製造。
弊社の製造する木質ペレットは秋田県認定リサイクル製品です。

SAN-EI